

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	124270	花巻・遠野広域連携事業	
総合計画	分野	行政経営				
	政策	5-1	効率的・効果的な行政運営			
	施策	2	機能的な組織運営と人材育成			
目的	花巻・遠野間の広域連携の推進					
対象	花巻市・遠野市					
意図	花巻市と遠野市の強みを生かして効果的に事業を実施する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○首都圏における観光情報発信 2,436千円 ○多言語PR動画の制作 267千円 ○観光ルートの景観保全 8,302千円 ○スポーツツーリズムによる地域振興 250千円						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	首都圏でのインバウンドイベント回数	回	計画		2	
			実績		2	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	花巻・遠野インバウンドイベント来場者数	人	目標		1,000	
			実績		1,040	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
本市は平成28年度より、東北観光復興対策交付金を活用し、遠野市・平泉町と連携して外国人観光客の誘客に取り組んできたが、本事業においても首都圏における外国人観光客・ビジネス客向けに観光情報を発信しており、外国人観光客入込数増の一助となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	遠野市との連携を模索する事業のため行政主導で行う必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	今後も様々な連携事業を検討・推進することにより、花巻市と遠野市双方にとって多様な成果が得られると考えられる。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	遠野市と連携して各事業に取り組むことで、効率的な事業効果を得られるものである。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	花巻市と遠野市とで応分の負担割合となっている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
首都圏における観光情報発信については、当初の目標を上回る外国人観光客の入込数が達成された一方で、今年度出展したTIC TOKYOでの情報発信では、立地やサービスの問題から、これ以上の波及効果は期待できないと思慮される。また、花巻市・遠野市・平泉町連携によるインバウンド事業は、国の交付金でも実施しているところであることから、次年度は対象を国内観光客とし、2市1町の新たな魅力を発信することで誘客を図っていききたい。 観光ルートの景観保全については、遠野市と連携し効果的に事業を実施することができた。次年度以降は、植樹等のイベントや花巻バイオマスエナジーのさらなる活用を検討しつつ、引き続き事業を推進していく。 スポーツツーリズムによる地域振興については、大学スポーツの強豪校から合宿及び大会開催に関する意見を伺うことができたため、今後の合宿・大会誘致の参考としていきたい。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	124270	花巻・遠野広域連携事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			11,255		11,255
財 源 内 訳	国・県		7,500		7,500
	地方債				
	その他				
	一般財源		3,755		3,755

※特定財源の内訳	
岩手県地域経営推進費（広域連携事業）	補助率 2/3

事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度繰返	<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定	[平成 29 年度 ~ 平成 31 年度]
部重点施策における目標			

事業開始の背景・経緯
岩手県では国の支援制度の対象とならない市町村における広域連携の取組を支援するため、地域経営推進費の中に広域連携事業分を創設。 ※県南広域振興圏（花巻・遠野）、県北、沿岸地域を想定。

事業概要
<ul style="list-style-type: none"> ○首都圏における観光情報発信 2,436千円 ○多言語PR動画の制作 267千円 ○観光ルートの景観保全 8,302千円 ○スポーツツーリズムによる地域振興 250千円

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 総合政策部 課名 秘書政策課 担当係長 赤坂秀樹 内線 211
(単位：千円)

<p>【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】</p> <p>1 首都圏における観光情報発信【H29～H31】 2,436千円 (内訳)広域連携事業委託料(TIC出展、イベント開催)2,272千円 職員旅費(イベント支援)164千円 東京駅に近接し、外国人観光客・ビジネス客向けに観光情報を提供している「TIC TOKYO」に遠野市及び平泉町と共同出展し、情報を発信するとともに観光情報プロモーション動画を制作し放映。また、周辺地でのミニイベント等を実施。 <H29事業> ○TIC TOKYOへの共同出展(5月～3月) ○「TIC TOKYO」周辺地で2市1町の観光PRミニイベントを実施(2日間×2回)。</p> <p>2 多言語動画の制作【H29】 267千円 (内訳)花巻遠野広域連携事業負担金267千円 遠野市が、遠野市出身で平成29年度に生誕150周年を迎える台湾文化の第一人者である伊能嘉矩(1867～1925)の生涯にスポットを当て、花巻市ゆかりの新渡戸稲造や両市の観光スポットも含めた番組(日本語、台湾語)を制作し、日本国内・台湾でTV放映を行うのに合わせ、短時間のPR動画を制作。 <H29事業> ○花巻・遠野PR動画作成。あわせて、繁体字字幕版も制作した。</p> <p>3 観光ルートの景観保全【H29～H31】 8,302千円 (内訳)観光ルート景観保全業務委託料8,302千円 観光ルートである国道283号の両市境は、観光スポットやスポーツ関連施設が多い地域であるが、松くい虫被害による枯損木が景観を害しており、倒木による被害も懸念されていることから、枯損木を伐倒して景観を回復するほか、近隣の木質バイオマス施設において、枯損木の燃料としての有効活用を図った。 <H29事業> ○松くい虫枯損木の伐採 431.03㎡ ○花巻バイオマスエナジーへの搬入 21.5t</p> <p>4 スポーツツーリズムによる地域振興【H29～H31】 250千円 (内訳)スポーツツーリズム促進事業負担金250千円 H23に設立された「はなまきスポーツコンベンションビューロー」(現在43団体で構成)が先導的な役割を果たしながら、遠野市が今年11月に新たに設置した「スポーツツーリズム推進室」と連携してスポーツに関連する広聴広報、大会支援、大会誘致等に取り組んだ。 <H29事業> ○大学担当者招聘事業 ・H29.11.1 (一社)日本フライングディスク協会【アルティメット2018U-23地区選抜対抗戦開催候補地視察】 ・H29.12.2～3 東海大学ハンドボール部、バスケットボール部、体操部、テニス部【合宿候補地視察】 ・H29.12.10～11 東京経済大学大学体育会硬式野球部【合宿候補地視察】 ・H30.2.21 帝京大学準硬式野球部【合宿候補地視察】 ・H30.3.1 一橋大学剣道部【合宿候補地視察】</p>
--

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	124280	総合企画アドバイザー活用・連携事業費	
総合計画	重点戦略					
	分野	行政経営				
	政策	5-1	効率的・効果的な行政運営			
	施策	2	機能的な組織運営と人材育成			
目的	施策に対するアドバイス及びコーディネート					
対象	庁内、市内企業など					
意図	課題解決や活性化が図られる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○花巻市総合企画アドバイザー来市にかかる報酬、費用弁償 ※主な業務内容 ・地方創生 ・農林産物の販路開拓、拡大 ・市内企業への企業訪問を通じた企業活性化 ・企業誘致にかかる情報収集 ○事業推進にかかる経費（職員旅費）						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
		事業協力・協定		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	総合企画アドバイザーの来市	回	計画		5	
			実績		4	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	課題解決の件数	件	目標		2	
			実績		2	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
本事業は、アドバイザーの来市頻度が課題解決や活性化に結びつく性質であることから、活動指標を来市回数5回、成果指標を課題解決件数2件にそれぞれ設定したことに対し、来市回数4回、課題解決件数2件の実績となった。 ※課題解決の内容 ・ジェイアール東海フードサービス㈱への花巻市産食材の導入 ・企業誘致パンフレット更新にかかる広告代理店への斡旋などの諸調整		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市政の課題解決や活性化の一助として、外部の視点を取り入れることを企図しているが、その具現化に向けて、市が主体的且つ協働して取り組む必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	平成29年度からの事業であるため、庁舎内外での認知度の向上が不可欠である。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の経費での実施であるため、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	取り組む内容が限定されていないことから、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
本事業は、平成29年度下半期から実施しているが、首都圏や東海圏などの大都市圏向けに花巻市産食材の導入を推進するほか、企業誘致用パンフレットの更新や企業動向などの情報提供など、本市の産業振興に寄与いただいた。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 商工観光部 課名 商工労政課 担当係長 薄衣 孝史 内線 388
(単位：千円)

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	02	01	06	124280	総合企画アドバイザー活用・連携事業費

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			362		362
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		362		362

※特定財源の内訳

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------

部重点施策における目標

4 多様な産業の連携を促し、高い付加価値を生み出します。

事業開始の背景・経緯

人的ネットワークやフットワークを有する民間の方をアドバイザーに起用し、外部の視点から市政全般の課題解決や活性化を目指すもの。

事業概要 …目的を実現するための事業手法を記載すること

- 花巻市総合企画アドバイザー来市にかかる報酬、費用弁償
 - ※主な業務内容
 - ・地方創生
 - ・農林産物の販路開拓、拡大
 - ・市内企業への企業訪問を通じた企業活性化
 - ・企業誘致にかかる情報収集
 - 事業推進にかかる経費（職員旅費）

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

食品加工業や誘致企業などの市内の関係者からは、いっそうの関係構築や販路開拓・拡大に向けた取組を教科いただきたいとの要望がある。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- 1 経緯

花巻市総合企画アドバイザーの中村勝彦氏には、(株)あおぞら銀行勤務時に高鉦菓子舗の菓子類や佐藤ぶどう園の房ごとの干しぶどうを店舗のノベルティに採用いただいたほか、平成28年度は、名古屋市内の飲食店で花巻市産食材（(株)エーデルワイン、高源精麦(株)）の導入に尽力いただき、又、成長分野参入セミナーの講師の招聘を仲介いただくなど、本市の産業振興に多大なご尽力をいただいで来たもの。
これらの功績に鑑み、同氏が有する豊富な人的ネットワークやフットワークを市政の課題解決や活性化などに協力いただくことを目指し、本事業を実施するもの。
- 2 事業概要
 - (1) 地方創生
 - (2) 農林産物の販路開拓、拡大（6次産業化、農商工連携関連も含む）
 - (3) 市内企業への企業訪問を通じた企業活性化
 - (4) 観光PR
 - (5) 企業誘致にかかる情報収集（必要に応じて企業訪問）
 - (6) その他

3 活動実績

内容	月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	現地業務①			■※	業務内容に係る打合せ、現状把握など						
現地業務②				■※	課題解決にかかる協議（クラフトワイン・シールドル特区）など						
現地業務③					■※	学校給食（食育）、企業誘致に関する打合せなど					
現地業務④						■※	花巻市産食材導入にかかる現地訪問など				
現地業務⑤							■※	花巻市産農産物の販路開拓にかかる協議など			
照会、調査等							■※	メールでの照会（ご回答）、現地での諸調整、観光PRほか			